

びとう和広後援会ニュース

2008.05.01

第18号

発行責任者
長谷川満敏

安心

と

元気

の

まち三田

めざして

頑張ります!

満開の桜の中、 50周年消防大会

4/6



郷の音ホール駐車場で

新緑の候、後援会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、皆様方からの力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年末から食品・生活関連で次々と値上げされています。生活費全体で9%負担増の試算も出ています。今こそ、生活や国民のための政策が大切です。

そのような中、4月からガソリン税約54円/ℓの内、暫定税率が廃止になり、約25円/ℓの値下げが実現しましたが、4月30日衆議院の与党は3分の2の数をもって暫定税率を復活しました。歳入不足で、国・地方が混乱し、政策実現ができないという理由です。

そもそも最近の原油高で国民が疲弊しているのに何も手を打たず、国と地方の配分や優先順位・無駄遣い・入札方法・利権・役人の天下りなど指摘された問題を一切見直さず、国民にだけ負担を押しつける、これが今の政府のやり方です。地方は道路財源が来ないので暫定税率維持を訴えていましたが、国のいいなりであることが見て取れます。厚生労働省の問題もそうですが、高齢者や弱者はじめ国民は置き去りで、政治を行なう人のための政治に思えてなりません。

道路特定財源は、道路や信号機整備・交通事故対策など、道路・自動車関連だけに約5.7兆円が使われるものです。小泉首相が「一般財源化し、道路以外の目的でも使用する」とし、安部首相が閣議決定したにも関わらず、福田首相で一般財源化したは余剰金の一部1927億円だけ、と首相交代で不確かなのです。

三田市の今年度予算は厳しい財政を考慮して、市民負担だけでなく、職員の給与も役職に応じ2~5%削減し、4年間で47億円削減をめざした緊縮財政です。一般会計345億円と昨年度の骨格予算（新規事業をしない予算）より2.3%増ですが、市の借金を減らすために12億円使うなど将来を見た評価できる予算です。

このような状況において、私は、安全・雇用・医療・福祉・子育て・環境などに尽力するとともに、現状を前向きに捉え、正すべきところを正し、生き活きとしたまちづくりを提案してまいります。議会にかかる費用においても、議会も共に痛みを負う時だと考え、議員定数削減を提案しています。

後援会活動としては、継続的に、直接会員様のお宅を訪問し、私の活動報告と皆様のご意見・ご要望をお聞きしております。

これからも対話を第一と考え、ご意見・ご要望をお伺いし、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力のある元気なまちづくりに向け、精一杯頑張っております。今後とも力強いご支援のほど、よろしく願いいたします。



三田市議会議員 **びとう和広** かずひろ



議会報告(3月定例議会)

3月定例議会(2/27~3/27開催)

2/27: 定例議会(1日目)市長施政方針・議案説明

3/6-7: 定例議会(2、3日目)一般質問

3/13: 定例議会(4日目)採決

3/27: 定例議会(5日目)委員長報告・採決

<民主党会派の代表質問:(質問者:びとう)>

(び:は質問/答弁に対する私の考えです。)

1. 新行革プランにおける事業継続のあり方について

問: 三田駅前再開発に約240億円投資した。現在の厳しい財政において、三田市一般会計の7割相当の投資は大きな負担である。この開発による三田市への影響はどうか? 無駄遣いはなかったのか? 特に壁面の大型ディスプレイに1.4億円は疑問である。

答: 駅前駐車場・広場・一番館などに194億円(内市負担77億円)、地域振興株式会社に57億円(内市負担30億円)投資した。三田市の玄関・都市防災力向上・商業拠点・都市機能整備として一定の効果があった。一番館の裏にBブロックが民間の力で動き始めた点も効果と言える。大型ディスプレイも妥当と考える。

問: 協働の事業展開:共に汗する市行政のあり方は?

答: 費用対効果を考え、専門性や効率性、迅速性に限りがあり、補うため業務委託している。行革推進には、職員一人ひとりが状況を認識し、危機意識とコスト意識を持つことが肝要で、個人の能力を発揮し、やり方・プロセスを点検し、人材育成の意識と創意工夫を見極めながら、業務改善を進める。

問: 回収できていない税・公金の現状と見込みは?

答: 平成18年度終了時点で、市税8.6億円、国保税6.9億円をはじめ、使用料・受益者負担金など総額18.9億円になる。昨年12月末で3.1億円回収できた。今後悪質なものは法的措置をふまえていく。

び: 市当局にまだまだ市民の血税を使っている認識も、そのための改善意識も甘く、予算を取れば使い切ることが美德と考えています。事業ごとに目的・効果・成果をしっかりと審査できる議会に変えていきます。

2. 高齢化に向けた市民の交通手段について

問: 移送ボランティアでNPO化できずに撤退した団体がある。なぜボランティアを活かせないのか? また高齢者の外出支援事業の現状と方向性は?

答: 白タク行為の禁止に抵触の恐れがあり、NPO等の条件で福祉有償運送が認められるようになった。別のNPO団体での運用が始まったので、NPO化できないボランティアは3月末で解散となった。外出支援は初回3千円無料券を1千円自己負担にして1年。申請率は78% 50%となったが、2枚目以降の半額自己負担は増加した。外出支援としては活発化と考える。

び: 広い三田では鉄道やバスでは限界があり、地域主体のボランティアが重要な要素と考えています。ボランティアを安心して行なえる支援事業こそ、本当の共助の仕組みだと考え、ボランティア団体の一部経費やボランティア保険の支援を積極的に推進していきます。

議会報告(予算特別委員会)

平成20年度予算特別委員会(3/17~3/19)

今回は予算特別委員を8名選出し、2日間の総括審議(持時間=50分/人・日)と1日間討論を実施しました。

民主党会派は、今井・檜田二人の委員を輩出し、今井議員が特別委員会の委員長に互選されました。

民主党会派による主な項目は以下の通りです。

1. 医療の充実について

問: 市民病院の経営健全化・院外処方・後期高齢者医療制度・妊婦健康診査助成の状況はどうか?

2. 駅周辺活性化事業について

問: 三田駅北口広場と高次線の整備状況・三田駅前Bブロック・Cブロックの開発状況・新三田駅ロータリーの進捗はどうか?

3. 教育環境の整備について

問: 小学校35人学級への対応・学校への労働安全衛生法適用・学校のパソコン環境整備・光熱費50:50の状況・新学習指導要領の移行状況・児童/生徒数増減の格差はどうか?

4. 市所有地の処分状況について

問: 5.8万平米、簿価20億円の公社先行取得地の処分状況はどうか?



会派を代表して一般質問

3月定例議会続き

3. 働く世代の子育て支援について

問: 三田の医療として、出産・子育て支援環境は?

答: 市民病院の産科は3名で大丈夫。小児科は6月から2名に戻るが、当面夜勤は無理なので、夜間救急は済生会で対応。3名体制確保に努める。病児・病後保育は医療法人社団青山会に事業委託し、田場小児科にて運用中。H18年度は延べ731人の利用。季節的に格差大。現場の協力で定員超の受け入れも行なっている。

び: 少子化対策としても重要事項だと考えています。

4. 環境行政のあり方について

問: ごみ処理有料化と環境基本計画の状況はどうか?

答: 三田市グリーンクリーン推進協議会のクリーン部会において、家庭ごみ処理有料化導入の論議中である。平成20年度中に部会審議の結論を受け、パブリックコメントや上部組織の三田市グリーンクリーン推進協議会から答申の予定。

び: 有料化=ゴミ削減ではなく、市と市民が削減に向けた工夫を積み重ねることが大切だと考えています。

活動報告・予定

2～4月の活動

委員会

2/19, 3/7, 3/11, 3/28: 福祉文教常任委員会

- ・放課後児童クラブの時間延長(17時まで 18時まで): 4校区をモデルに試験運用を開始。H21年度全面実施に備えます。私は19時までを訴えています。
- ・後期高齢者医療制度: 75歳以上の老人保健を健康保険と集約し、個人別負担に変更。
- ・木器バス停周辺の通学路確保。
- ・特別養護施設: ゼフィール三田視察。

2/21: 健康福祉審議会

- ・次世代育成計画の途中経過が報告されました。

4/11, 4/18: 会派代表者会

- ・政務調査費取り扱いについて交通費と通信費の取り扱いを整理しました。

3/14: スポーツ振興審議会

- ・従来の競技スポーツだけでなく、生涯スポーツ(生涯を通じて継続できるスポーツ)を支援していく方向性を基本計画にとりまとめ、5月答申の予定です。

2/19, 3/25, 4/3, 4/10, 4/28: 議員定数等検討委員会

- ・議員の存在意義や本来の役目を考え、現三田市に相応する議員の定数などを検討しましたが、報道傍聴の会議でも現状維持が多く、民主と公明は削減、盟政会・共産・少数会派は維持で平行線となり、委員会として集約できないと報告の予定です。

4/7, 4/11, 4/28: 生活文教常任委員会

- ・4月より市の組織が大きく変わり、常任委員会の構成が3つに再編されました。私は、生活文教委員会で、まちづくり・教育・病院の所管です。

行事出席

地域の幼・小・中の入園式・入学式はじめ地域団体の総会にも出席し、ご挨拶させて頂いています。

民主党・連合関連行事

2/14: 三菱電機労組中央委員会 市議選公認決定

2/19: 電機連合兵庫地協 市議選推薦決定

2/28: 電機連合大阪地協 ご挨拶

3/5: 民主党兵庫5区幹事会 党公認候補者決定

4/13: 三菱電機労連中央関西地協 市議選推薦決定
など 市議会選挙に向けて、公認・推薦の決定を頂き、身の引き締まる思いです。カー杯頑張ります。

また、連合関連や支援団体の総会などに参加させて頂き、御挨拶させて頂いています。



三菱電機労働組合の中央委員会において、執行委員長より公認決定の証書を読み、決意表明致しました。

びとつ和広の視点

<後期高齢者医療制度>がスタートしました。

75歳以上の個人ごとに設定する高齢者専用の健康保険で、高齢者医療費無料により、こげついた健康保険を立て直すため、保険料負担を通じてコスト意識を高め、医療費抑制に役立てようと考え出されたものです。

この原稿を書き始めるといきなり名称が差別的と批判され、通称「長寿医療制度」となりました。

その直後、新しい保険証が高齢者の手元に届かないトラブルが全国6万3千人、やむなく古い保険証で診察を受けると、窓口で全額負担を求められ、厚生労働省は新保険証なしでも1割負担で受けられるよう全国の病院に指示を出しました。また、今まで扶養者が負担していたものを、各人が負担する保険料を年金から天引きする仕組みにしたことや、各人の収入による負担割合の格差や、負担増の高齢者には当面9割免除など、各自治体で運用差もあり、混乱が続きました。

三田市でも、収入による個人負担の割合設定などの記載ミスが46通など、対応に追われています。

2006年5月の強行採決により決まったもので、審議されていないことや周知されていないことがここで露呈されたところです。新保険証は、はがき大の1枚の紙、高齢者に十分認識もされずに、実施となったことは、今の政治を象徴した現象と思います。

私は、一連の年金や医療制度もあわせ、厚生労働省の進め方に対し、三田市議会としての意見書提出をしよう、と生活文教常任委員会で対応を進めています。

<議員定数削減について>

市職員も給与カット、各自治会も防犯灯電気代の負担など、ともに痛みを負っているこの状況で、議会としても何らかの行動が必要だと考えています。

私は、現在の議会費3億3千万円の1割を目標に経費削減を図ることを、訴えております。議員一人あたり約1千万円(報酬と諸経費の合計)かかるため、3名程度の定数減が必要です。ただし、議会は市の立法機関であり、市政のチェック機関ですので、本来の機能が果たせる仕組みを維持できることが絶対条件です。今の議会に提出される案件を各事業単位で目的・コスト・効果を審査・検証できる仕組みと議員のスキル向上が大切だと考えています。

6月議会に向けて結論を出さねばなりません、いずれにしても、今年9月の市議会改選は、ますます厳しさが増すと予想されます。皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

<びとつ和広の提案>

現在: 3 常任委員会 (8人ずつ)	24人
: 議会関連経費	3.3億円
提案: 3 常任委員会 (7人ずつ)	21人 (3人減)
: 議会関連経費	3.0億円 (3千万円減)

後援会・市民活動報告

日ごろより後援会活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。皆様の声を直接お聞きできる機会として、行事を開催してまいります。びとう和広は、皆様から頂いた、一つひとつの案件に真剣に取り組み、その改正や実現に向けて全力で頑張ります。

1/30(水)定時後 三菱電機三田製作所：構内市政報告会を開催し、行財政改革や市の状況説明と共に私の活動報告を行いました。

これからの後援会活動計画のご案内です。

<後援会会員様宅訪問活動・拡大活動>

「皆様の声を市政に！」と訴えて市議会に送っていただきました。現在、びとう本人が後援会会員様のお宅を訪問し、活動を報告するとともに、皆様の生の声を聞かせていただき、今の市政に欠けているもの、問題点、方向性、ご意見、ご要望など確認させていただいています。ぜひ、ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。併せて、後援会の拡大活動も展開いたしております。

三菱電機三田製作所構内市政報告会



本
当
の
協
働
と
は、
共
に
汗
す
る
行
政
・
議
会
・
地
域

1/30



1/30

調査報告

今回は富士が丘に新しくオープンした特別養護施設「ゼフィール三田」を報告します。



熊野の郷の向かいにオープンしたゼフィール三田は、全室個室の特別養護老人ホーム(定員 80 人)・デイサービス・ショートステイ(定員 10 人)・居宅介護支援・フラワー高齢者支援センターを兼ね備えた社会福祉施設です。

ゼフィールはそよかぜの意味で、やさしさに包まれた施設をめざしているとのこと。費用は介護費 21~29 千円/月とは別に、居住費 820~2400 円/日、食費 300~1890 円/日、共に所得に応じ、4 段階に設定されています。結構な価格ですが、すでに長期ホームの70%は、入居が決まっているそうです。これからの高齢化社会に向かい、発展する業界だと感じました。



私も経験がありますが、この風呂の介助は大変です。お風呂は、手前が倒れ座れません。一旦座り、向きを変え、座り直せば、入浴できます。

専用のいすに座り変え、移動で入浴できます。自動でお湯を入れ、水流で体を洗います。横の装置でお湯を浄化・調整します。



チ
エ
ア
イ
ン
バ
ス

びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、議会に送り出して頂いて3年半が過ぎ、いよいよ2期目に向けた活動となります。まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。

今回は、議員定数見直しなど、厳しい情勢の下、三田市のための議会改革活動を精力的に進めており、

市政のチェックや後援会活動とあわせて、力強く邁進しております。

『びとう和広』は、これからも、後援会の皆様に少しでもお出合いができるよう、また、より多く皆様の声をお聞きし、問題解決に向け、全力で活動する所存でございます。何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel : 079-563-1860 Fax : 079-563-5093

<自 宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel : 079-562-8653 , Fax : 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitto-kazuhiro.com>